

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020 年 2 月 8 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 所沢校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			適切なスペースを確保できるように整頓を行った。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	1	1	各自の体調管理と相互のヘルプ体制を整えている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1		面談スペースは 高さ約 180 cm のボードで囲みプライバシーに配慮する形になっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			個人情報管理に細心の注意を払いながら、PC 上にて各自でスケジュールや情報等を共有・管理できるようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	2		回答率の向上と、より正確な情報を得るため更なる関係性の構築を図る必要がある。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			市の子供部会主催の研修等に参加し、他職種や事業所が集まる機会を利用して積極的に情報交換・情報収集することを意識している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		お子様と保護者様からの意見を考慮し、客観的な視点を心がけながら分析・作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3		1	事業所共通のツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			スタッフ間で支援計画の案を出し合い、立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			お子様に合わせた教材作成を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			曜日毎に支援内容を設定している方。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			月1回程度イベントとして小集団の活動を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			注意が必要なお子様に対しては事前に確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			注意が必要なお子様に対しては事前に確認を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎回、支援記録を書き情報を共有し検証・改善に活かしている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			お子様と保護者の意見を重視し、判断の基準にしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	2		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		会議には、そのお子様に最も関わっているスタッフが参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2		2	学校から、月間行事予定表をいただき予定把握をしている。送迎は行っていない。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3		対象のお子様について、医療機関と情報の共有を行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		2	2	現在までのところ機会がないが、今後情報共有する機会を設けていく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	1	現在までのところ機会がないが、今後情報共有する機会を設けていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2		現在までのところ機会がないが、今後情報共有する機会を設けていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	現在までのところ機会がないが、今後情報共有する機会を設けていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	1	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			フィードバックの時間を利用して共通理解を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3		フィードバック時、質問に対し必要な助言を行っている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1		契約時や請求・領収書お渡し時、その他質問があった時に説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			フィードバック時、質問に対し必要な助言を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	現在は行っていないが、以前行っていたママカフェを再開できるよう準備をしていく。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情受付窓口を設置し、迅速で適切な対応を心掛けている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	1	2	ブログにて発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4			契約時に個人情報に関する同意書の説明をしサインをいただいている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			それぞれの特性に応じた配慮を行っている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2		契約時に説明を行っている。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		毎月、様々な事態を想定した訓練を行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	2		虐待防止に関するマニュアルを用意し、周知を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2		契約時に説明を行っているが支援計画書に記載していないので、今後は支援計画書にも記載をしていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	1	2	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		1	自事業所や他校舎の事例を共有している。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 所沢校 保護者等数（児童数）：44(42) 回収数:25 割合：59.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25			お子様ごとの活動内容に合わせてパーティションでスペースを調整している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	7	1	現在は支障がないが、出入り口前の段差やトイレに改善の余地がある。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	24	1		
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	19	6		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	15	6	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25			お子様と保護者の意向をくみ取るとともに、分かり易い説明を心がけ、納得のいく支援内容を説明している。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	1		フィードバックの時間を利用し共通理解を行っている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	4		フィードバック時、質問に対して必要な助言を行っている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	14	6	現在は行っていないが、以前行っていたママカフェを再開できるよう準備をしていく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	12		苦情受付窓口を設置し、迅速で適切な対応を心掛けている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	3		それぞれの特性に応じた配慮を行っている。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	8		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24	1		契約時に個人情報保護に関する説明をし、書類は鍵付きの書庫に保管している。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	9		契約時に説明を行っている。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	13	2	毎月、様々な事態を想定した訓練を行っている。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	3		楽しく通えるよう、分かり易く楽しく学ぶことを心掛けている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	25			保護者の意向も取り入れるとともに、毎回ていねいな説明を心がけ、納得のいく支援内容を提示していく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。